安全安心へまた一歩

高規格救急自動車の寄贈

△救急自動車前で記念撮影をする森山市長と中川代表取締役

4月25日㈭、消防本部で「高規格救急自動車受納式」が行われ、㈱高速産業の中川廣司代表取締役より森山一正市長へレプリカキーが手渡されました。

この救急自動車は、中川代表取締役から市民の安全安心を守るために寄贈されたもので、傷病者への負担を軽減するための防振ベッドや救命処置を行うための最新資機材が備えられています。さらに従来の救急自動車よりも室内空間が広いため、より円滑な高度救命活動ができます。

中川代表取締役は「一人でも多くの市民を助けられるよう、救助活動に励んでください」と話し、森山市長は「市民の安全安心への貢献が多大なものであり、大切に使わせていただきます」と答えました。

問合せ　消防本部・警備企画課へ

△中川代表取締役（右）より寄贈を受ける森山市長

△救急自動車および資機材の説明を受ける様子

地域と行政のつなぎ役として

98人に地区振興委員を委嘱 自治連合会の新役員も選出

4月27日㈯、コミュニティプラザで令和6年度の地区振興委員委嘱式を開催し、98人の自治会長らに同委員を委嘱しました。

同委員は、住民からの要望を市に伝えたり、市からの情報を住民に伝えるなど、地域と行政をつなぐ役割を担い、地区の振興と市民の利便を図るために活動します。

同日、自治連合会の総会も開催され、令和6年度の新役員が左表のとおり選出されました。

問合せ　自治振興課へ

△委嘱状を受けとる福永一利委員

△自治連合会の溝口重雄会長

令和６年度 自治連合会役員（敬称略）

役職	氏名（自治会・町会）
会長	溝口　重雄（鳥飼下自治会）
副会長	髙田　繁夫（市場自治会）
	平松　直樹（乙辻自治会）
	橋本　眞澄（三島南部自治会）
	倉本　康史（別府新町自治会）
	吉田　政和（鳥飼八防自治会）
会計	中井　秀夫（香和自治会）
会計監査	池上　隆男（正音寺町会）
	長谷川文男（上一津屋自治会）
理事	稲尾　信夫（千里丘１丁目自治会）
	池上　毅春（小坪井自治会）
	平尾　周平（香露園自治会）
	中西　　進（千里丘東４丁目自治会）
	前田　幸夫（新庄屋自治会）
	山﨑　健司（安威川住宅自治会）
	森田　恵子（北別府自治会）
	吉本ますみ（一津屋住宅自治会）
	藤﨑　俊博（万葉苑自治会）
	福永　一利（新西自治会）
	堀　　善文（鳥飼中自治会）
	中西　　貴（鳥飼中旭自治会）

表紙の写真▶南千里丘から摂津市内を望む

避難所運営を支援

令和６年能登半島地震 石川県輪島市へ職員派遣

市は、令和6年能登半島地震にかかる避難所運営を支援するため、石川県輪島市へ4月27日㈯～5月4日㈯と5月3日㈮～10日㈮に職員を1人ずつ派遣しました。

職員は避難所で、食事の配膳、ごみ収集、トイレ清掃などさまざまな業務に従事しました。

問合せ　防災危機管理課へ

△派遣前に職員を激励する森山一正市長

再開発ビルの建築開始へ

千里丘駅西地区 再開発事業 工事の安全を祈願

千里丘駅西地区再開発事業の特定建築者が、4月26日㈮に井於神社で、事業の安全祈願祭を執り行い、市も参加しました。

同地区では、駅直結の高層マンションや商業施設、駅前広場の建設を予定しています。

令和9年の竣工に向けて、市と特定建築者が協力し、事業を進めていきます。

問合せ　都市計画課へ

△安全を祈願する森山一正市長

＼ 令和６年６月から ／

定額減税

▽所得税はこちら

１人あたり４万円の定額減税

▽市・府民税はこちら

国の経済対策の一環として、令和6年分の所得税と令和6年度分の市・府民税について定額減税を実施します。

問合せ　▽所得税については、
電話相談センター☎0570（00）5901（ガイダンス１番）へ
▽市・府民税については、市民税課へ

納税者および配偶者を含めた扶養親族１人につき

所得税 **3万円**　市・府民税 **1万円**

【対象者】
納税義務者本人の合計所得金額が1,805万円以下（給与収入2,000万円以下）の人
※一部対象外あり、詳細は上記QRへ

▶▶▶
減税しきれない場合は調整給付へ

調整給付

▽詳細はこちら

定額減税しきれないと見込まれる人への給付

定額減税可能額が令和6年推計所得税額または令和6年度分市・府民税所得割額を上回り、定額減税しきれないと見込まれる人に対して、調整給付金を支給します。
※対象となる人へ、後日確認書を送付

問合せ　市コールセンター
☎06（6170）1538へ

【対象者】
定額減税可能額が所得税または個人住民税所得割額を上回る人

【給付内容】
減税しきれない差額を**1万円単位で給付**